

研究成果の出版

東京都立大学都市研究センター発足以来、毎年、3冊の総合都市研究を編集、出版し、関係各方面の利用に供してきた。各号、特集号的な性格をもたせて利用者の便をはかってきた。

昭和57年度も、16, 17, 18号と3冊を出版した。収録の論文、シンポジウム記録は後記のとおりである。この年度の特徴のひとつとして、英文論文を収録したが、これからの国際交流に多少とも寄与できるようにとの配慮である。シンポジウムも、各研究グループで計画、実施しているので、その記録を収録し、研究の展開に多少ともプラスになればと考えている。

今後は、さらに学内、学外の研究者の論文を収録し、また、組織的にシンポジウム記録を収録していきたいと考えている。

『総合都市研究』昭和57年度総目次

第16号 特集 東京都立大学都市研究センター5周年記念

編集者のことば	1
座談会 都市研究の反省と展望	川名吉エ門・古屋野正伍 東郷 尚武・堀口 孝男 石田 頼房・大石 堪山 加藤 義明・倉沢 進 中野 尊正・中村 誠 半谷 高久・千葉 正士
東京都立大学都市研究センターの現状と課題	東京都立大学都市研究センター
	29

特集「多摩地区総合調査」研究報告 4

市街地開発事業と住民

多摩ニュータウン区画整理地区における住民の生活意識	倉沢 進・園部 雅久 平岡 義和・文屋 俊子
	33

大都市における社会生活上の居住性（その3）——多摩ニュータウンと共同性・社会関係・社会的地位——

近隣交際関係と社会的地位理論	高橋 和宏
	63

地域社会の共同関係形成の解明をめざして

——地位クラスター・アプローチと生活類型アプローチ——	高橋 和宏・寺田 良一
	83

集合住宅住氏の諸類型

——クラスター分析による住民類型構成の試み——	高橋 和宏・野辺 政雄
	109

都市一人間と自然の接点	本谷 勲
	145

資料

建築形態規制と共同住宅の土地利用

——横浜市における新設共同住宅の規模・容積率に関する特別集計（昭和54年度分）——	島田 良一
	151

都市研究センター収納文献（昭和56年度分）	207
-----------------------	-----

第17号 特集 震災予防研究 (その6)

編集者のことば 防災研究の理念	中野 尊正	1
常時微動が示す二・三の情報に関する研究	国井 隆弘	3
dam-break wave と管渠内段波 (その2)		
——任意断面一様管渠への拡張——	丸井 信雄・安川 浩	
	新井 邦夫・宇井 正和	15
地震水害の危険度	新井 邦井・丸井 信雄	23
地盤との連成効果を考慮したRC造建物の震害に関する研究	望月 利男・松田 磐余	
	荏本 孝久・宮野 道雄	
	小泉 敏一	31
地震時における地域別延焼危険度の推移	小谷 正行	47
シンポジウム討議記録——地震時における地域別延焼危険度の推移		57
機械設備の地震時破壊特性の推定について	青木 繁・鈴木 浩平	69
比較的最近の地震による人的被害の実態		
——とくに負傷者について——	望月 利男・宮野 道雄	
	松田 磐余	77
地震による負傷者について		
——1982年浦河沖地震を例とした予備的研究・その1——		
	小坂 俊吉・塩野 計司	85
都市施設・構造物のサイズミック・リスク・アナリシス		
(地震時損傷状態の評価法について)	鈴木 浩平	109
災害と社会変動		
——災害の長期的影響に関する研究の動向——	山本 康正	117
シンポジウム討議記録 災害と社会変動		131

第18号 特集 住民心理

巻 頭 言	詫摩 武俊	1
集合住宅居住者の居注意識の分析	加藤 義明	3
集合住宅居住者の居注意識変容過程	本間 道子・詫摩 武俊	
	加藤 義明	35
都市生活における保養行動イメージの多変量解析	今井 省吾	53
近隣騒音の心理社会的構造に関する研究	山内宏太郎・久田 満	
	山本 和郎	65
都市と老人	林 洋一	89
CITIZEN'S MOVEMENT AGAINST ENVIRONMENTAL DESTRUCTION IN JAPAN		
	Nozomu Kawamura	99
建築線制度に関する研究・その5	石田 頼房・節 健夫	000
	池田 孝之	115
建築線制度に関する研究・その6		
——東京以外における指定建築線運用の実態——	池田 孝之	141
『総合都市研究』昭和57年度総目次 (第16.17.18号)		164